

令和7年度 第1回 木曽川水系流域委員会 【最近の河川事業を取り巻く話題】

- ① 令和7年度 木曽三川連合総合水防演習の開催
- ② 令和7年6月出水の概要
- ③ かわまちづくり計画の登録
- ④ 第16回 木曽川イタセンパラ事業環境影響検討会
- ⑤ 第4回 長良川遊水地河川環境調査検討会
- ⑥ 沢北排水機場 ポンプ故障について
- ⑦ 木曽三川下流部緊急対策検討会大型土のう設置訓練
- ⑧ 水上バイク免許確認等取締パトロール
- ⑨ 第18回 木曽三川下流域自然再生検討会

令和7年11月27日

国土交通省 中部地方整備局

木曽川上流河川事務所、木曽川下流河川事務所

① 令和7年度 木曽三川連合総合水防演習の開催

令和7年度 木曽三川連合総合水防演習

- 木曽三川（木曽川・長良川・揖斐川）における洪水被害を想定し、水防関係者の水防技能の習熟と防災関係機関が相互に連携した災害に対する各種実動訓練により、防災体制の確立と強化を図るとともに、水防技術の向上、伝承及び水防知識の普及と理解、さらには水防意識の向上を図ることを目的に実施。

■開催日時 令和7年5月25日（日）9:00～11:00

長良川右岸鵜飼い大橋下流河川敷
(岐阜県岐阜市長良雄総地先)

水防団等による水防工法等の実施訓練、
建設業協会・コンクリートブロック協会による堤防の応急復旧、
行政機関・関係団体等が連携した情報収集・伝達訓練、車両移動、
排水活動、ハイブリッドドローンによる被災状況調査 等

67機関

水管理・国土保全局長、中部地方整備局長、岐阜県知事、岐阜市長
をはじめ約1,600人（来賓、一般見学者及びスタッフ含む）

訓練のポイント

- 訓練内容を水防活動と堤防決壊の緊急対応の2つに絞って実践的な訓練を実施。
- 新技術（水防活動支援情報共有システムなど）を活用した迅速な災害対応訓練等を実施。
- YouTubeで訓練状況をライブ配信することで、演習の実施について広く情報発信。

開会式



国土交通省
藤巻水管理・国土保全局長

岐阜県
江崎知事

全国水防管理団体連合会
会長

実施した主な演習

■ 水防工法訓練



■ 水防工法体験

閉会式



【感謝状贈呈】

中部地方整備局長
より総指揮者へ

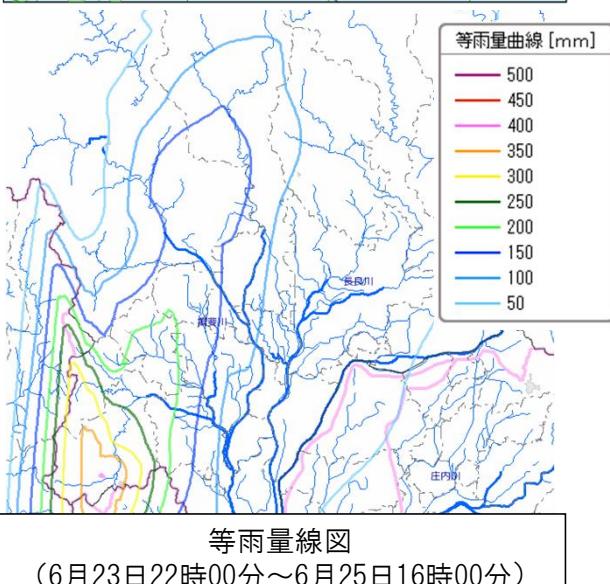
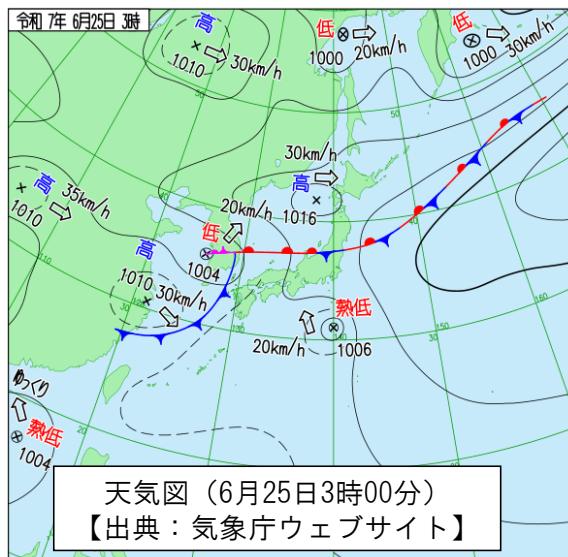
■ 関係機関・地域との連携による総合的な訓練



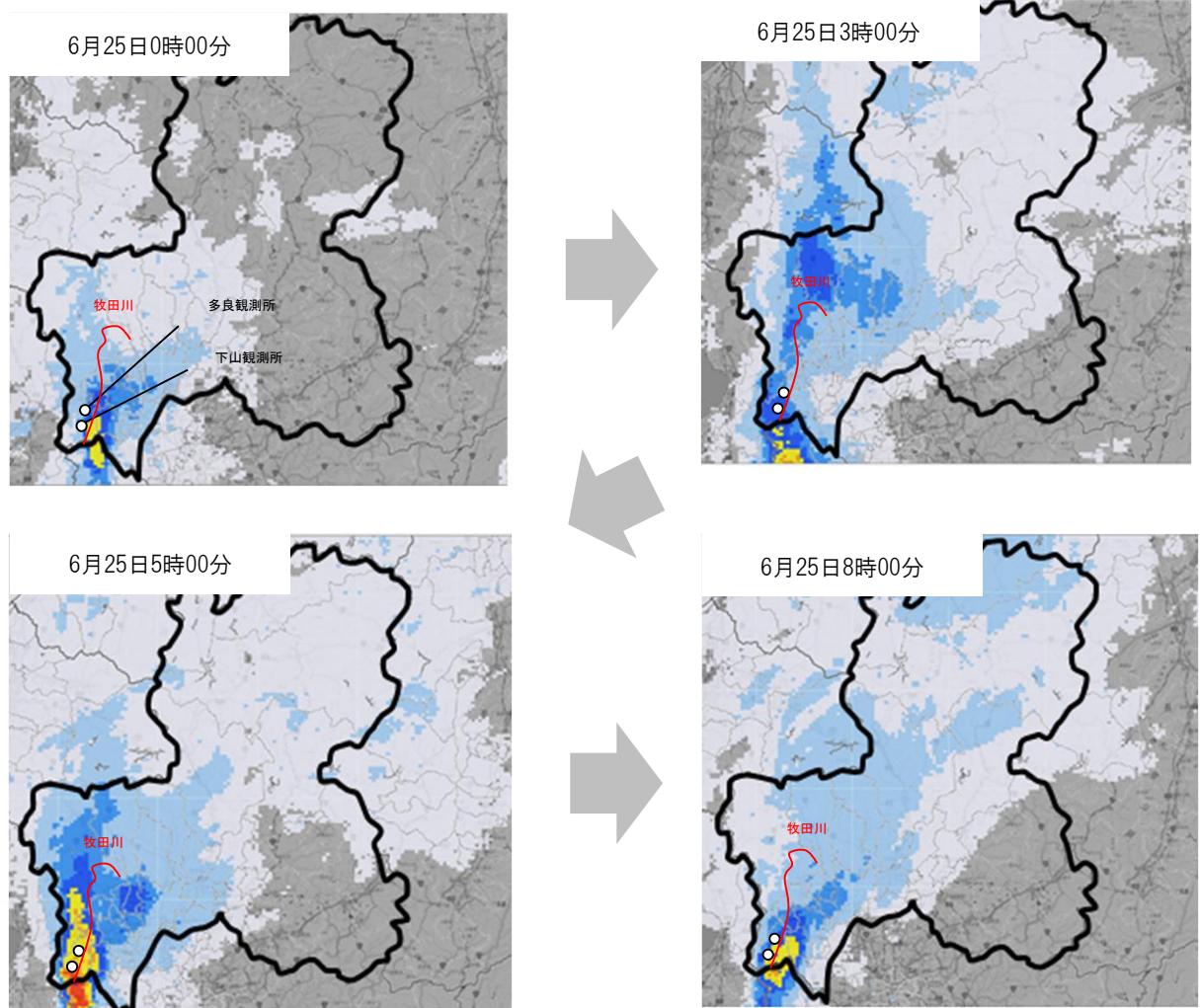
② 令和7年6月出水の概要

気象状況

- 梅雨前線が東北から九州にかけて停滞し梅雨前線に向かって湿った空気が流れ込み、大気の状態が不安定となり、東北～九州にかけて広く曇りや雨となり、局地的な大雨が発生しました。木曽川水系においても6月23日の降り始めからの総降水量（6月25日16時まで）が下山観測所（岐阜県大垣市）で363mm、多良観測所（岐阜県大垣市）で287mmを観測するなど、牧田川流域において大雨となりました。



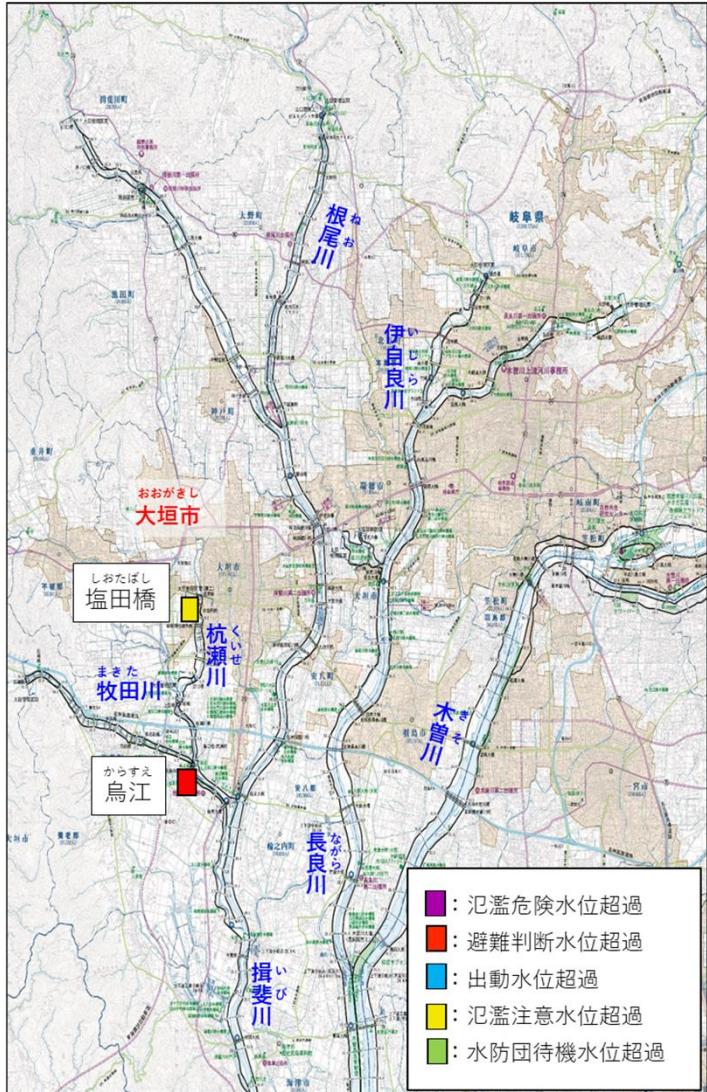
レーダー雨量



牧田川・杭瀬川の状況

- 木曽川上流河川事務所管内の養老町（烏江観測所）では避難判断水位を超過し、大垣市（塩田橋観測所）では氾濫注意水位を超過しました。
- また、国管理区間における氾濫被害はありませんでした。

○水位状況



○氾濫注意水位の超過を観測した観測所

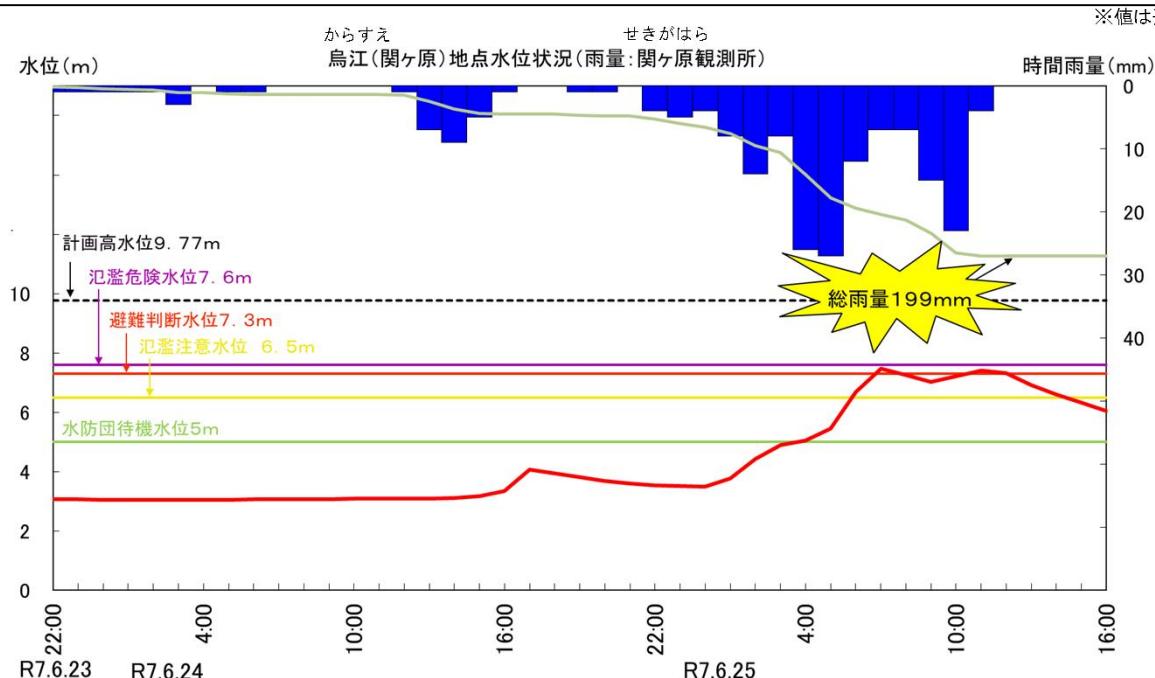
(単位:m)

河川名	観測所名	今回※ 最高水位	水防団 待機水位	氾濫 注意水位	出動水位	避難 判断水位	氾濫 危険水位	計画 高水位
牧田川	からすえ 烏江	6/25 7:00 7.47	5.00	6.50	7.30	7.30	7.60	9.77
杭瀬川	しおたばし 塩田橋	6/25 13:20 5.22	4.30	5.10	5.40	7.70	7.90	8.05

※最高水位は速報値（10分単位） 水位の値は量水標の読み値

【牧田川】岐阜県養老町(烏江観測所)で、避難判断水位を超過

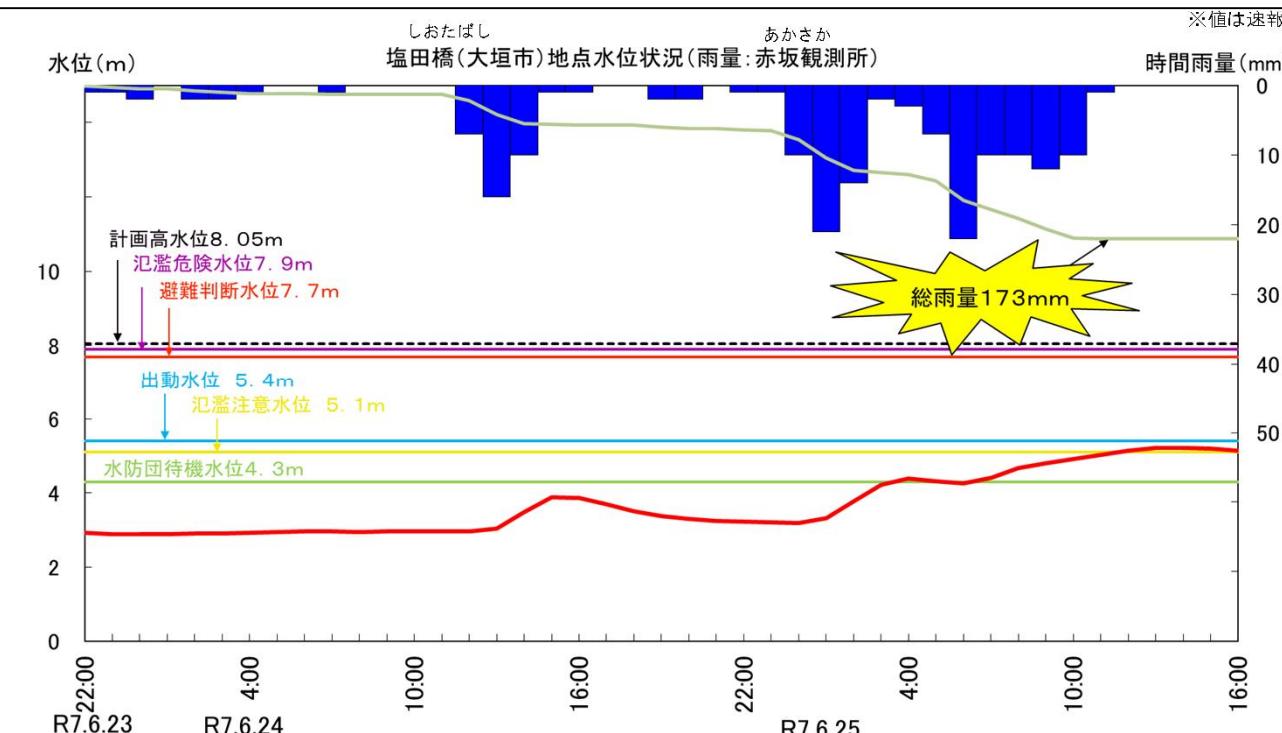
- 牧田川の烏江観測所においては、避難判断水位を超える7.47*mの水位を観測しました。



牧田川の出水状況(6月25日 11時40分頃)7.2k付近

【杭瀬川】岐阜県大垣市(塩田橋観測所)で、氾濫注意水位を超過

- 杭瀬川の塩田橋観測所においては、氾濫注意水位を超える5.22m※の水位を観測しました。



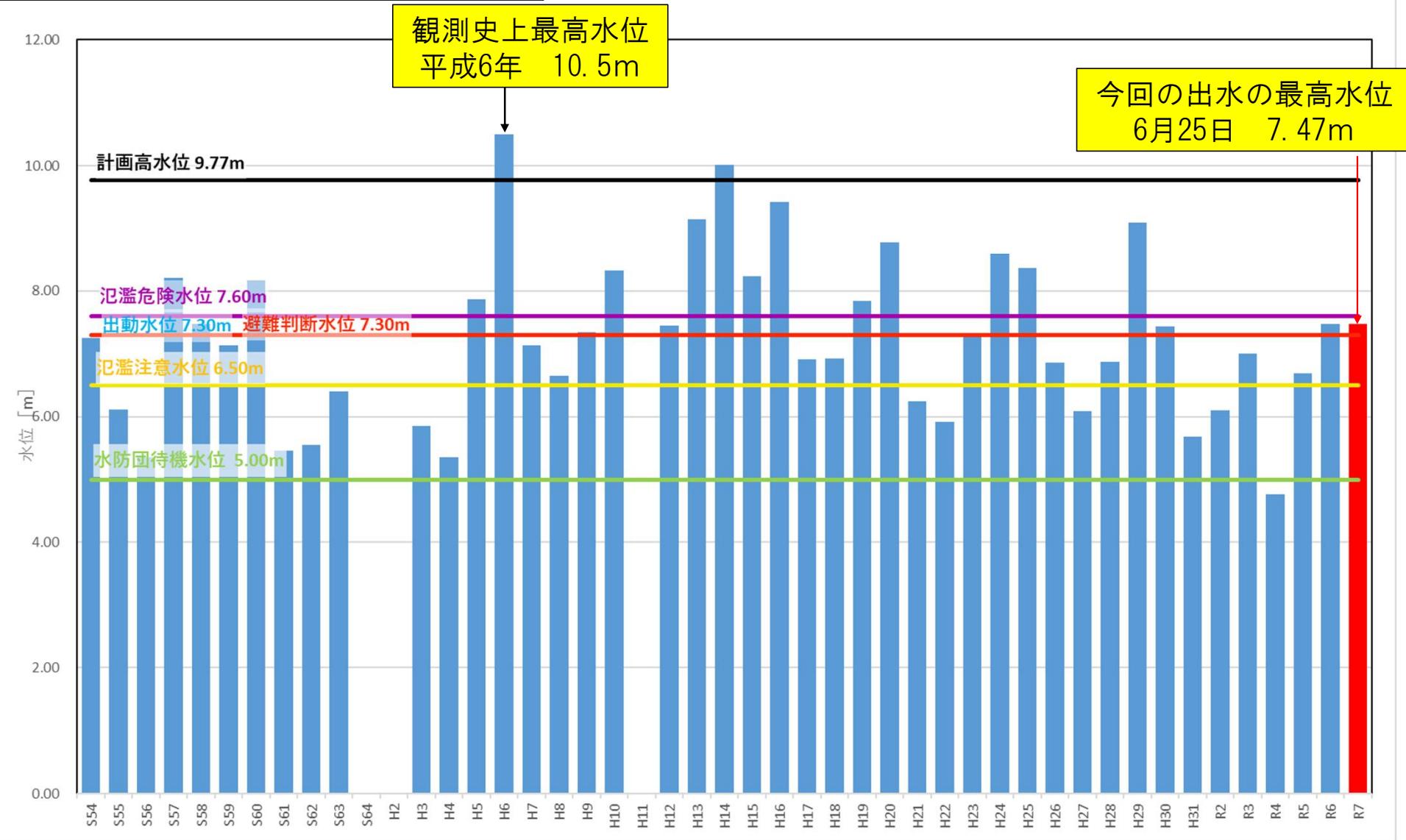
杭瀬川の出水状況(6月25日 13時10分頃)8.6k付近

【牧田川】水位の概要(鳥江観測所)

○ 今回の出水は、鳥江観測所において昨年8月に続き避難判断水位を超える水位 (7.47m) を観測しました。

まきた がわ からすえ

牧田川(鳥江観測所)の年最高水位比較図



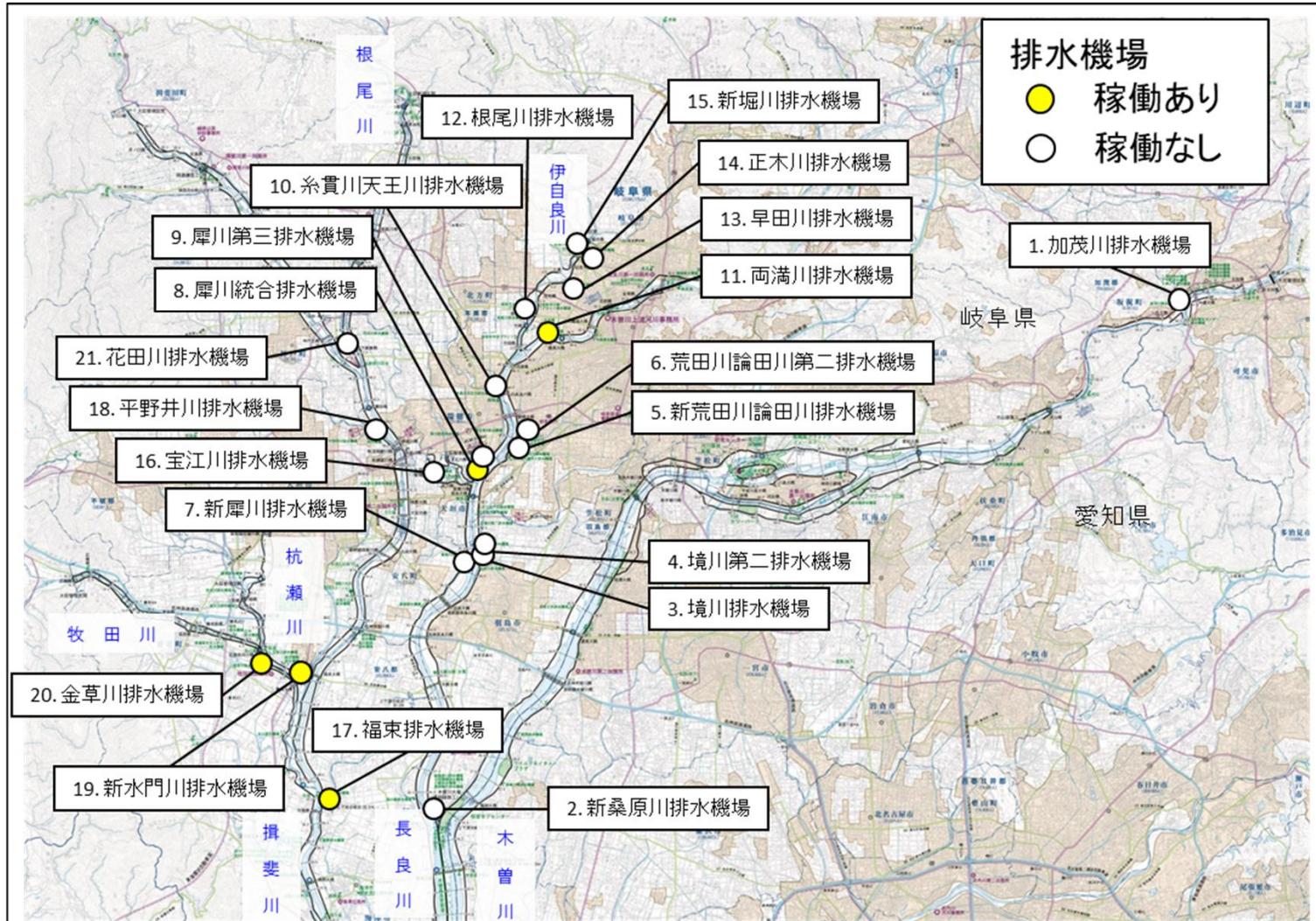
※本資料の令和7年最高水位は、今後の照査により変更となる可能性があります

※氾濫危険水位等の基準値は令和7年度時点のものになります

排水機場の稼働状況

- 木曽川上流河川事務所が管理する 21排水機場のうち、5排水機場が稼働しました。これらの排水機場により、バンテリンドームナゴヤ（旧ナゴヤドーム）の容量の約1.8倍に相当する約307万m³※（うち、揖斐川では約303万m³※、長良川では約4万m³※）の内水を排除しました。

【位置図】



排水機場稼働報告(6月23日～6月25日)

No.	河川名	排水機場名	主なポンプの稼働時間(h:min)							総排水量 (万m3)
			1号	2号	3号	4号	5号	6号	7号	
1	木曽川	加茂川	-	-	-	-	-			0 m3
2	長良川	新桑原川	-	-						0 m3
3	長良川	境川	-	-	-	-	-			0 m3
4	長良川	境川第二	-	-	-	-				0 m3
5	長良川	新荒田川論田川	-	-						0 m3
6	長良川	荒田川論田川第二	-	-						0 m3
7	長良川	犀川統合	00:10		00:10	00:00				1 m3
8	長良川	犀川第三	-	-	-	-	-			0 m3
9	長良川	新犀川	-	-						0 m3
10	長良川	宝江川	-	-						0 m3
11	長良川	糸貫川天王川	-	-	-	-	-	-	-	0 m3
12	伊自良	両満川	00:30	00:30	00:30					3 m3
13	伊自良	早田川	-	-	-	-				0 m3
14	伊自良	正木川	-	-	-					0 m3
15	伊自良	根尾川	-	-						0 m3
16	犀川	新堀川	-	-	-	-				0 m3
17	揖斐川	福束	19:10	23:30	-	-				113 m3
18	揖斐川	平野井川	-							0 m3
19	牧田川	新水門川	-	15:20	-	12:30				84 m3
20	牧田川	金草川	23:20	10:50						106 m3
21	根尾川	花田川	-	-						0 m3

総排水量 約307万m3

21排水機場のうち、
5排水機場が稼働

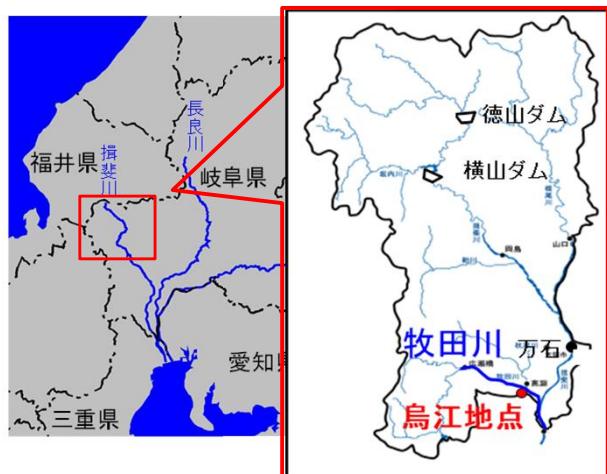


※総排出量については、四捨五入のため、内訳の合計が総数に合わない場合があります。

牧田川の河道拡幅による効果 ※速報値

- 摂斐川支川牧田川では、令和7年6月23日～25日の前線に伴う出水により、関ヶ原雨量観測所において総雨量199mm（時間最大雨量27mm）を観測、烏江水位観測所において避難判断水位（7.30m）を超過する7.47mの水位を観測しました。
- 平成2年9月出水による被害を受け、これまでに特定構造物改築事業（近畿日本鉄道（現：養老鉄道）牧田川橋梁）【平成2年～平成13年度】等による河道拡幅工事を実施したことで、烏江地点において事業実施前に比べ約0.9mの水位を低下させ氾濫危険水位の超過を回避しました。

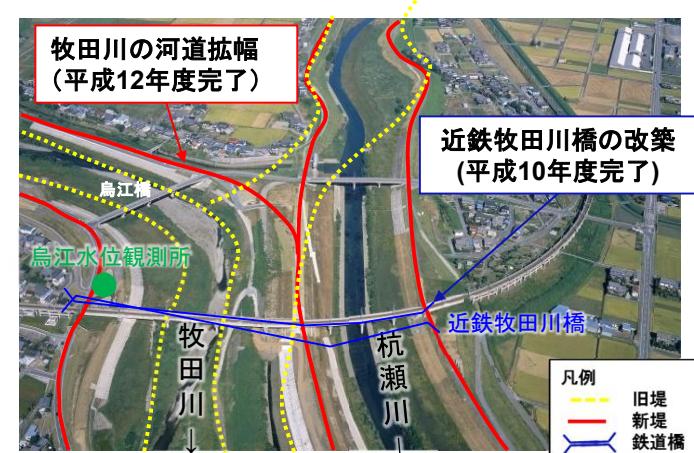
【位置図】



【事業前(平成2年度)】



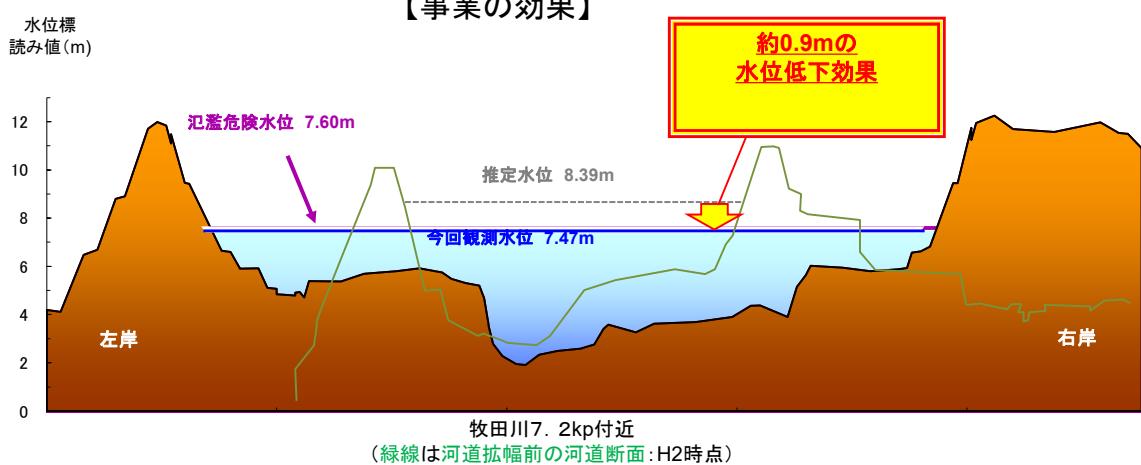
【現在】



【平成2年9月出水の状況】



【事業の効果】



災害時の関係機関の活動

- 今回の出水にあたり、建設業、測量・コンサルタント業等多くの機関が連携し、住民の安全・安心のため活動いただきました。

建設業、測量・コンサルタント業等



③ かわまちづくり計画の登録

一宮西部地区かわまちづくり

- ◆ 一宮市の西部、木曽川に面した富田山公園で、新たな「かわまちづくり」を始めます。
- ◆ 「KISOGAWA FUN&FAN」として、景色をたのしみ、自然・文化をたのしみ、イベントやレクリエーションをたのしみ、にぎわいの輪が広がりファンが増え、地域の「誇り」となるような水辺の空間をつくります。

位置図



現状の課題

- 現在の水際は草木が生い茂り、川に近づけません。
- 堤防から河川敷におりる道が少なく、河川敷はスポーツにしか利用されていません。



川に近づけない水際

整備イメージ

- 木曽川の美しい景色を楽しみながら散策できる川沿いの遊歩道を整備します。
- 安全に水辺へ近づける「親水護岸」を整備します。水と触れ合ったり、環境学習の場での活用が広がります。
- グラウンドの約半分を芝生広場として整備し、スポーツやイベント、ディキャンプなど、多様な遊び場に生まれ変わります。さらに、堤防のまち方面にも魅力的な公園整備を行い、これらを階段で繋ぐことで、かわとまちとの一体性が高まります。
- 木曽川を楽しむ人が増え、一宮市の魅力と活力と好きな人が増えることを目指して、かわまちづくりに取り組みます。



水上アクティビティ等の活性化



渡船など舟運文化の継承



マルシェ等による地域の賑わいづくり



まつり等の地域文化の継承



河川敷の整備イメージ



親水護岸の整備イメージ

「一宮西部地区かわまちづくり計画」登録証伝達式を開催

- ◆ 令和7年8月1日付けで、愛知県一宮市(木曽川水系木曽川)の「一宮西部地区かわまちづくり計画」が登録され、令和7年10月9日に「一宮西部地区かわまちづくり計画」の登録証の伝達式を行いました。
- ◆ 一宮市では、木曽川と地域が日常的につながる水辺を通して、木曽川を楽しむ人が増え、一宮市の魅力・活力、一宮市が好きな人が増えることを目指して、かわまちづくりに取り組みます。

【概要】

日 時: 令和7年10月9日(木) 午前10:00~
場 所: 一宮市役所 6階特別会議室
出席者: 一宮市 中野市長、まちづくり部 稲本参事
中部地方整備局 高畠河川部長
木曽川上流河川事務所 斎藤事務所長



稻本参事・中野市長・高畠河川部長・斎藤事務所長

【中野市長 挨拶】

- 「一宮西部地区かわまちづくり」計画の登録証を賜り、感謝申し上げる。
- 市民憲章のはじめに“木曽の清流”とあり、一宮市にとって木曽川は宝であり、「一宮西部地区かわまちづくり計画」により、木曽川という宝を磨き上げていきたいという決意を新たにしている。
- 富田山公園の再整備については、Park-PFI制度等活用し、官民連携により進めていきたい。
- 一宮市としても、国土交通省と協力しながら整備を進めたい。

【高畠河川部長 挨拶】

- 堤内地側の公園整備と連携したハード整備を実施することで、富田山公園全体としてにぎわいのある水辺空間が創出されることを期待している。
- 同じく今年8月に登録された「木曽川中流域自転車で繋ぐかわまちづくり計画」で整備するサイクリングロードの新たな拠点としても期待している。
- 中部地方整備局としても、一宮市と連携し、整備にとりくんでいきたい。

犬山市かわまちづくり

- ◆ 犬山市の北部、木曽川に面した内田地区と栗栖地区で、新たな「かわまちづくり」を始めます。
- ◆ 犬山三景「水景・城景・緑景」“日本一 美しい河畔へ”をコンセプトとして、木曽川の豊かな自然や景観、歴史・文化資源を活かした、安全で魅力的な水辺空間の形成に向けた取り組みを進めます。

位置図



内田地区

現状の課題

- 現在の堤防上は、整備から年月が経過し、舗装や樹木が老朽化して眺望や景観が損なわれています。
- 水際は、河岸が切り立っており、安全に近づきにくい状態です。



整備イメージ

- 階段護岸の整備により、人々が水辺に親しみやすくなり、水際まで足を運んで座ったり、眺めたり、ゆったりと滞在できる空間を創出します。
- このような整備により、犬山朝市や木曽川鵜飼等の魅力を高めます。また、花火大会だけでなく、演奏会やイベント等の場を創出し、住民や来訪者が交流し憩えるかわまちづくりに取り組みます。

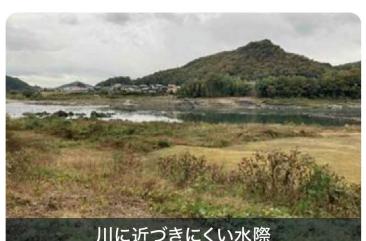


内田地区整備イメージ

栗栖地区

現状の課題

- 現在の水際は、草木が生い茂り、川に近づきにくい状態です。



整備イメージ

- キャンプや水遊びなどのアクティビティ、自然と親しむイベントなどを提供し、栗栖園地周辺の賑わいを創出します。
- 美しい竹林を維持管理し、自然体験学習等に活用します。
- このような整備により、日本ラインの四季折々の景観が楽しめる自然を生かしたかわまちづくりに取り組みます。



栗栖地区整備イメージ



「犬山市かわまちづくり計画」登録証伝達式を開催

- ◆ 令和7年8月1日付けで、愛知県犬山市(木曽川水系木曽川)の「犬山市かわまちづくり計画」が登録され、令和7年10月17日に「犬山市かわまちづくり計画」の登録証の伝達式を行いました。
- ◆ 犬山市では、木曽川河川空間が、「かわ」と「人」と「まち」を繋ぐ特別な場所と捉え、木曽川を中心には人が集い、賑わいが生まれ、地域の人も心豊かに活躍できる日本で一番美しい河畔を形成することを目指します。

【概要】

日 時: 令和7年10月17日(金) 午前10:30~

場 所: 犬山市役所 4階応接室

出席者: 犬山市 原市長、永井副市長、経済環境部 小池部長

中部地方整備局 高畠河川部長

木曽川上流河川事務所 高橋副所長



高橋副所長・高畠河川部長・原市長

【原市長 挨拶】

- かわまちづくり計画の登録証を賜り、感謝申し上げる。
- 木曽川があったから犬山城が築城され、周辺に城下町ができ、犬山市のまちづくりが始まった。木曽川は犬山市民にとって生活の一部である。
- 犬山市としても、国土交通省と連携して整備に取り組み、課題はあるが、かわまちづくり計画を登録して良かったと思われるような河川空間を作り、親しみのある木曽川にしていきたい。

【高畠河川部長 挨拶】

- 内田地区は、国宝犬山城と木曽川のロケーション・景観が素晴らしい。木曽川河畔の整備により、城下町からの回遊を促すことで、更なる賑わいの創出を期待している。
- 栗栖地区では、市民団体等と連携し、地域を盛り上げていくことを期待している。
- 中部地方整備局としても、犬山市と連携し、整備に取り組んでいきたい。

木曽川中流域自転車で繋ぐかわまちづくり

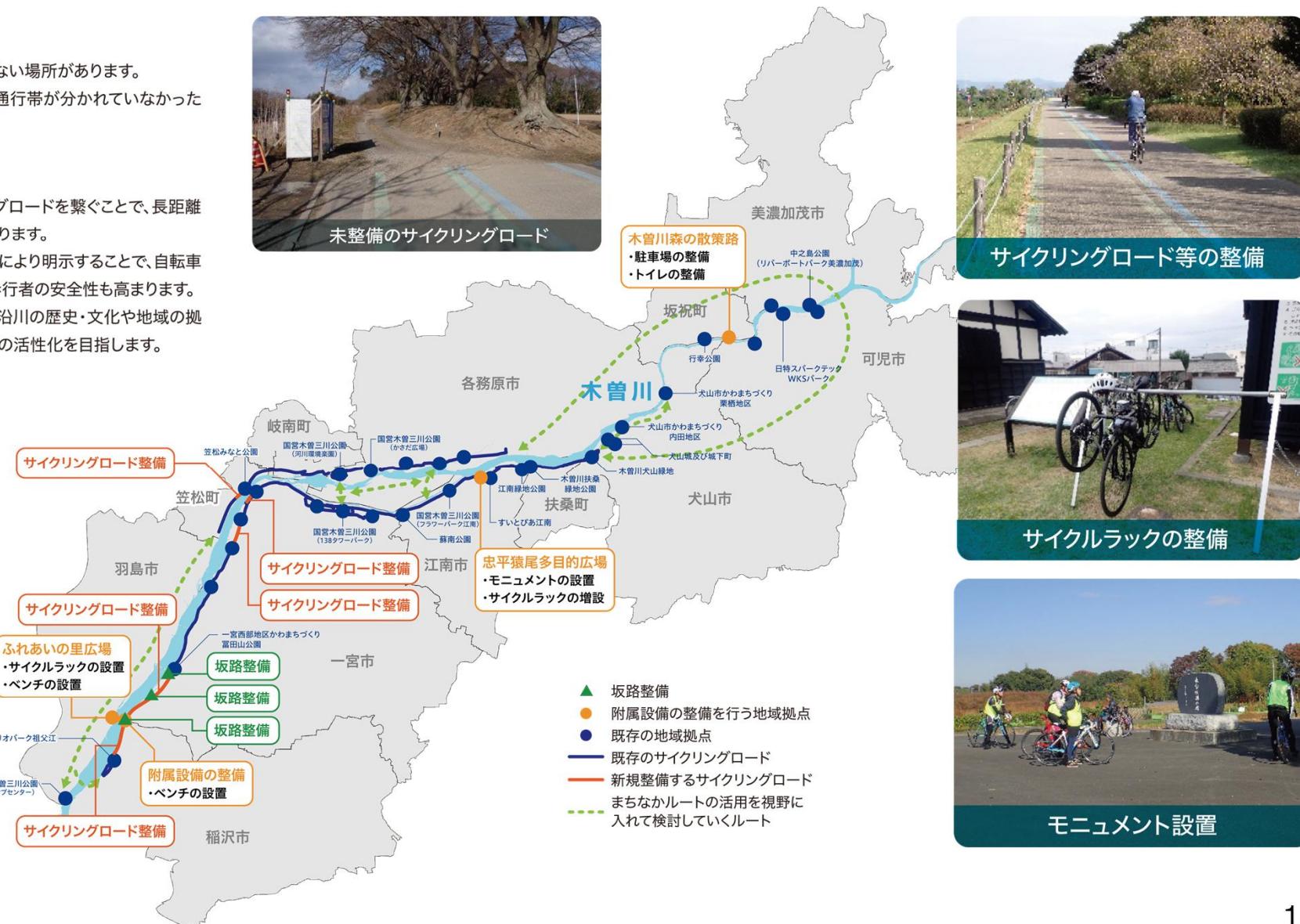
- ◆ 木曽川の中流域にある、12市町が連携して新たな「かわまちづくり」を始めます。
- ◆ “つなぐ、賑わう、拡げる”をコンセプトとし、地域資源を活用した賑わい拠点を、自転車で繋ぎ、拡げることで地域全体の魅力の向上を目指します。

現状の課題

- 河川敷の通路が途切れたり、自転車等で移動できない場所があります。
- 通路が舗装されていなかったり、自転車と歩行者の通行帯が分かれていなかったりして、安全に通行できない場所があります。

整備イメージ

- 一部の区間で途切れていた木曽川沿いのサイクリングロードを繋ぐことで、長距離の自転車での周遊や、サイクルイベント等が活発になります。
- 案内サインを設置したり、通行帯の区分をカラー舗装により明示することで、自転車利用者が安全に走行でき、さらに河川敷を通行する歩行者の安全性も高まります。
- このような整備により、木曽川の豊かな自然や景観、沿川の歴史・文化や地域の拠点を「繋ぎ」、地域の住民や来訪客が憩い集える地域の活性化を目指します。



- ◆ 令和7年8月1日付けで、「木曽川中流域自転車で繋ぐかわまちづくり計画」が登録され、令和7年11月19日に登録証の伝達式を行いました。
 - ◆ 既存サイクリングロードの活用とさらなる延伸、サイクリングコースの整備や、水辺からまちなかへのアクセス性の向上により、新たな人の流れと交流形成により地域活性化を目指します。

【概要】

日 時:令和7年11月19日(水) 午前10:00~

場 所: 稲沢市役所 2階政策審議室

出席者：中部地方整備局 高畠河川部長

木曾川上流河川事務所 斎藤事務所長

稻沢市 加藤市長、扶桑町 北折副町長、羽島市 藤井建設部長、

美濃加茂市 武市建設水道部長、各務原市 川口都市建設部長、

可児市 中井建設部長、坂祝町 片桐産業建設課長、

一宮市 稲本参事、江南市 鵜飼都市整備部長、

岐南町 西脇建設課長、笠松町 永見建設課長、

犬山市 高木都市計画課長

Digitized by srujanika@gmail.com



【沿川市町代表者 挨拶(抜粋)】

- 木曽川中流域は伊吹山・犬山城等を眺める雄大な自然や、歴史に触れる景観が魅力である。
 - 木曽川のサイクリングロードは平坦であり、サイクリングを楽しみやすい。
 - 木曽川沿川には多数の魅力があり、沿川市町をサイクリングロードで繋ぐことに対する地元の期待も大きい。
 - サイクリングロードがつながり、回遊性が高まり交流人口を高めていくことを期待している。
 - 地域拠点同士の点をサイクリングロードで線として繋げ、木曽川中流域を面として発展していくことを期待している。
 - 国と沿川市町が連携して整備を進め、賑わい創出に向けて取り組みたい。
 - サイクルトレイン等の民間との協力を進めていきたい。

【河川部長 挨拶】

- 木曽川中流域沿川には、各市町の公園・国営公園が多数あり、地域のポテンシャルが高い。
 - 一部区間で途切れている木曽川沿いのサイクリングロード整備し、地域拠点を繋ぐことで、木曽川中流域の更なる地域活性化が期待される。
 - 中部地方整備局としても、木曽川中流域沿川市町の地域活性化に寄与する取組の支援をしていきたい。

【木曾川上流河川事務所長 挨拶】

- 木曽川を核としてまちなかへと誘導していき、更なる地域活性化に向けて沿川市町の皆さんと共に取り組んでいきたい。
 - 木曽川のサイクリングロード整備で成功体験を作り、長良川・揖斐川に広げ、濃尾平野にサイクリングロードを広げていきたい。
 - かわまちづくり計画が登録され、ここからがスタート。沿川市町の皆さんと連携してサイクリングロードの整備を進めていきたい。

④ 第16回 木曽川イタセンバラ事業環境影響検討会

第16回 木曽川イタセンパラ事業環境影響検討会

- 木曽川における天然記念物イタセンパラ(タナゴ類)の保護のため、影響が想定される事業について、環境影響の必要性について検討を実施するため、木曽川上流河川事務所では、平成22年7月30日に「木曽川イタセンパラ事業環境影響検討会」を設置。
- 検討会では、環境影響の判断(スクリーニング)基準を策定し、事業毎にスクリーニングを行ない、環境影響の方向性について審議することとしている。
- 令和7年8月22日に開催した、第16回検討会では、工事によるイタセンパラへの影響及び、影響区間における施工時の対応事項等について審議。

＜委員＞(五十音順)

北村 淳一 三重県総合博物館 主幹兼課長代理
田代 喬 名古屋大学減災連携研究センター 特任教授
富永 晃宏 名古屋工業大学 名誉教授
永山 滋也 長野大学 准教授
森 誠一 岐阜協立大学教授

＜第16回検討会の審議事項＞

- 1)前回(第15回)検討会時の意見及び対応
- 2)事業スクリーニング
- 3)令和6年度および令和7年度実施内容の報告
- 4)新規事業に対する事業スクリーニング
- 5)その他



第16回検討会の様子

⑤ 第4回 長良川遊水地河川環境調査検討会

第4回 長良川遊水地河川環境調査検討会について

- 長良川遊水地の整備においては、事業箇所及び周辺を含めた環境調査を継続し、重要種の分布を確認するとともに、生息環境の保全と配慮に努めていくこととされている。
- その具体的な手法について検討するため、木曽川上流河川事務所では、令和3年12月24日に「長良川遊水地河川環境調査検討会」を設置。
- 令和7年10月2日に開催した、第4回検討会では、事前調査結果に基づく美濃市地区、関市地区の整備に係る動植物の保全対策及び河川環境の保全・創出の今後の検討方針について議論。

＜委員＞

藤田 裕一郎 岐阜大学名誉教授
西條 好廸 (一財)自然学総合研究所 理事・顧問
森 誠一 岐阜協立大学教授

＜オブザーバー＞

岐阜県県土整備部河川課長、関市基盤整備部土木課長、美濃市建設部土木課長

＜検討会の検討事項＞

- 事業箇所及び周辺を含めた環境調査・対策手法の検討
- 重要種の分布の確認
- 継続的な環境調査への助言
- その他事務局が必要と判断したもの



第4回検討会の様子

⑥ 沢北排水機場 ポンプ故障について

揖斐川右岸7.6kmに位置する沢北排水機場では、7/17の出水において3号ポンプが故障した。同等の排水能力を確保するため、緊急復旧工事として5m³/sの排水が出来る仮設ポンプの設置を7/24から着手し、8/12に設置が完了したことから、沢北排水機場の操作委託先である桑名市の伊藤 徳宇市長をはじめ職員の方々や操作人、関連業者等に、仮設ポンプ設置の完了報告及び操作説明を実施した。

開催概要

日時:令和7年8月20日(水)

8:45～9:45

場所:沢北排水機場(桑名市東汰上地先)

参加者:合計29名

木曽川下流河川事務所 事務所長以下6名

桑名市役所 市長以下7名

施工業者(鶴見製作所・富士丸産業) 12名

操作人 1名

管理人 1名

保守業者(クボタ環境エンジニアリング) 1名

マスコミ:中日新聞 1名

説明内容:

○沢北川流域における沢北排水機場の役割

○沢北排水機場の施設概要

○3号高弹性継手の故障状況

○緊急復旧工事(仮設ポンプ)の概要

○仮設ポンプを含めた操作方法

○仮設ポンプの排水運転確認

(かんがい期のため、1m³/s排水で確認)

○本復旧の見通し

桑名市 伊藤 徳宇市長より

3号ポンプ故障から仮設ポンプを設置し、今回説明会を開催して頂き有り難うございます。また、日頃から長きにわたり操作に携わって頂いてる操作人の方には感謝申し上げます。

市民の方からの信頼を得るためにも今回のように迅速な工事が大切だと思っております。

今後とも施設の維持管理についても宜しくお願ひ致します。



桑名市長に概要説明



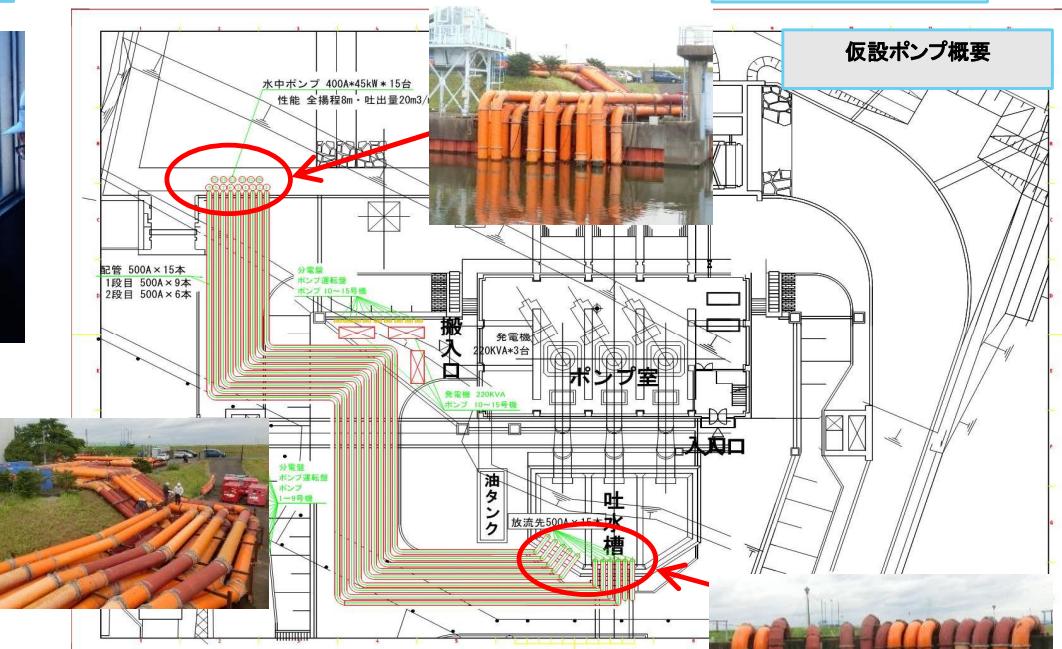
3号高弹性継手故障確認



2階操作室の操作説明



仮設ポンプ運転確認



仮設ポンプ概要

【仮設ポンプ概要】

- 水中ポンプ 400V×45kW×15台 全揚程8m×吐出量20m³/min
- 発電機 220kVA×7台 125kVA×1台
- 分電盤・起動盤 45kVA×スター/ルタ起動 15面
- 配管 ツリ巻き 口径500×15系列(下段9系列・上段6系列)

⑦ 木曽三川下流部緊急対策検討会大型土のう設置訓練

- 伊勢大橋及び尾張大橋は、木曽川と長良川・揖斐川を横断し、名古屋圏域と三重県を結ぶ大動脈をなす国道1号の橋梁。
- 両橋梁橋詰4か所は、堤防高さが不足しており、大規模な高潮や洪水が発生した場合には、橋梁の開口部からの越波の恐れがある。
- 特別警報クラスの高潮発生の恐れがある場合、木曽三川下流部緊急対策検討会の関係者が連携し、緊急対策として国道1号及び堤防道路を通行止めにし、大型土のうの設置を行うこととしている。
- 台風期に備え、実際の対策現場を想定した大型土のう搬出・設置訓練を実施した。

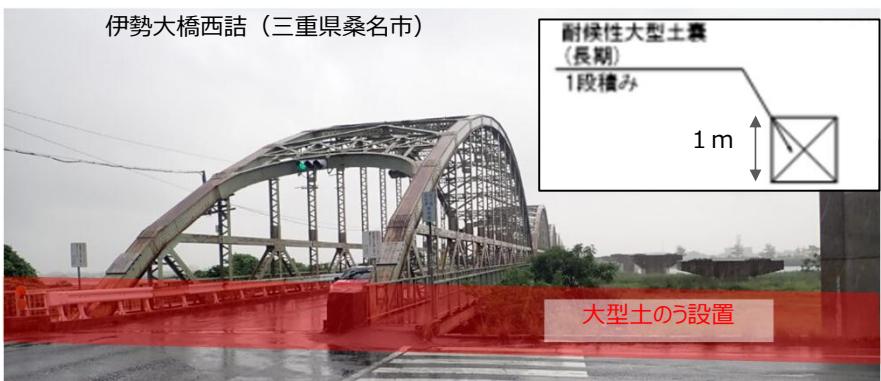
【訓練概要】

日時: 令和7年8月26日(火) 9:00~11:30

場所: 伊勢大橋右岸 下流側河川敷(三重県桑名市福島)

目的: 災害時の大型土のう搬出・設置手順を確認し、
作業を習熟することを目的とする

内容: 実災害時同様に土のうで全延長を締め切り、現地を
再現した高水敷上で運搬から設置までの作業を実施



イメージ図



訓練の様子

⑧ 水上バイク免許確認等取締パトロール (海津警察署・中部運輸局合同パト)

- 水上バイク利用の多い箇所にて、小型船舶操縦者法違反に関する調査を主としたパトロールを新たに実施。
- 利用者の反応からマナー啓発だけのパトロールより、水面利用の安全性やマナー向上の効果は高いと思われる。

実施概要

実施日時: 令和7年8月30日(土) 11:00～12:00

実施機関: 中部運輸局 海上安全環境部(2名)

海津警察署 地域課・生活安全課(5名)

木曽川下流河川事務所(占調2名、海津1名)

実施箇所: 長良川右岸18.4k～21.6kの変形護岸3か所

実施内容: 船舶免許証の確認、アルコール呼気検査※

※対象者がいなかったため実施せず

実施結果: 違反者なし

実施箇所



海津No.9



声掛けしたグループ: 1組
違反事項: なし

海津No.8



声掛けしたグループ: 2組
違反事項: なし

海津No.7



声掛けしたグループ: 5組
違反事項: なし



⑨ 第18回 木曽三川下流域自然再生検討会

- 木曽川下流河川事務所では、自然再生事業の検討を目的として、平成21年2月から「木曽三川下流域自然再生検討会」を定期的に開催している。
- 検討会では、木曽三川下流域の現状や変化、環境上の課題、自然再生の考え方などについて、委員の皆様から多様な視点で意見をいただき、平成24年3月には「木曽三川下流域自然再生計画」を策定し、事業を進めてきた。その後も、計画書の見直しに向けて、現状や変化、課題、新たな自然再生メニューの追加などについて議論を重ねてきた。
- 今回の検討会では「木曽三川下流域自然再生計画書(変更案)」の内容や自然再生実施箇所に対するモニタリング調査の結果等について議論を実施した。

<委員>

藤田 裕一郎 岐阜大学名誉教授
岩田 紳一 NPO法人木曽川文化研究会 監事
萱場 祐一 名古屋工業大学 教授
木村 妙子 三重大学 教授
富永 晃宏 名古屋工業大学 名誉教授
増田 理子 名古屋工業大学 教授
水谷 隆行 赤須賀漁業協同組合 代表理事組合長
森 誠一 岐阜協立大学 教授
森 照貴 国立研究開発法人土木研究所 自然共生研究センター長
森 元則 海津市漁業協同組合 代表理事組合長

<第18回検討会の検討事項>

- 自然再生計画書の変更
- 令和7年度のモニタリング評価結果及び令和8年度モニタリング計画
- ワンド再生箇所22.0km～22.6kmにおける整備方針



第18回検討会の様子